

水稻の省力化技術導入に向けた活発な意見交換を！

～令和4年度千葉地域水稻栽培現地検討会を開催～

千葉農業事務所改良普及課 令和4年9月13日発

千葉地域では水稻生産者の減少等により担い手に農地が集まっており、作業の省力化がより重要な課題となっています。8月4日に省力化技術の検討や導入に向けて現地検討会を開催したところ、生産者等26名の参加がありました。

現地検討会では、追肥作業が省力化できる、「粒すけ」専用の一発肥料の試験ほ場や、自動給水により水管理作業の省力化につながる「水管理システム」の試験ほ場を実際に見ながら、生育状況を確認するとともに意見交換しました。参加者からは、「今回の肥料試験の結果を参考にして、来年度の粒すけの肥料設計を考えたい。」、「遠くにあるほ場について、水管理システムの導入を検討したい。」などの感想がありました。

農業事務所では、今後も検討会の開催や栽培指導等を通じて、水稻生産における省力化を支援していきます。



「粒すけ」の生育状況を説明する生産者



「水管理システム」についての意見交換